

■ 心理状態(気分)を簡便に測定!! “TDMS(二次元気分尺度)”

TDMS-ST / TDMS-ST for academic

作成者：坂入洋右、征矢英昭、木塚朝博（筑波大学）



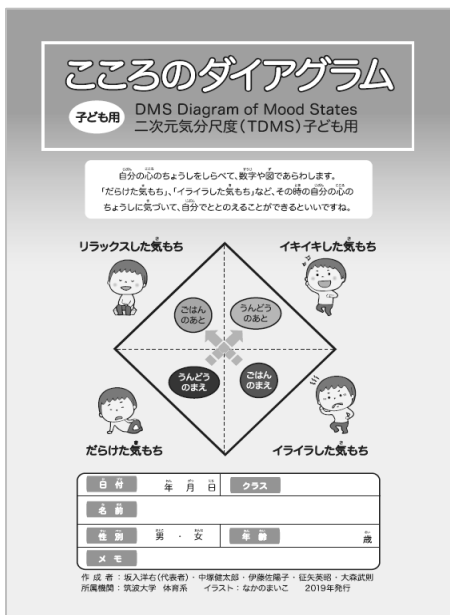
- 『TDMS-ST』は8項目の質問に回答することで心理状態（気分）を測定する心理尺度です。回答した結果を自分で採点し、「活性度」と「安定度」の得点を「快適度」と「覚醒度」を2軸とする二次元グラフに図示することで、その場で自分の心理状態（気分）を知ることができます。1部で2回測定できますので、物事の前後の気分の変化を調べる場合に有用です。
- TDMS-STを実験・研究用にアレンジした『TDMS-ST for academic』はユーザーを研究者に限定しているため、回答者が使用する内容（回答結果の採点欄等）を省き、その分、測定できる回数を増やしてあります。1部で4回測定できるので、気分の経時的変化を調べるなど繰り返し気分を測定する必要がある場合に有用です。

※画像はTDMS-ST

TDMS-ST: A4判 4頁・自己採点方式 1セット50部 定価10,000円(税別)
 TDMS-ST for academic: A4判 2頁 1セット100部 定価10,000円(税別)

こころのダイアグラム 子ども用 / こころのダイアグラム 2項目版

作成者：坂入洋右(代表者)、中塚健太郎、伊藤佐陽子、征矢英昭、大森武則



- 『こころのダイアグラム』は二次元気分尺度（TDMS）の短縮版の心理尺度です。子ども用と2項目版があります。TDMS（8項目版）は、「無気力な」「ピリピリした」などの感情表現語の意味を適切に理解して数量的に自己評価する能力が必要なので、幼児や児童にとっては実施が難しく、また、1回の測定に30秒程度の時間を要するため、短時間で連続した測定を行う場合には回答者の負担が大きいという課題がありました。
- 質問を2項目とし、かつ心理状態を表現した「言葉」と「数字」に加えて「人物のイラスト」と「色イメージ」を活用し、幼児や児童でも実施可能な、1回の測定に数秒で回答できる検査として開発しました。
- 測定結果は、TDMS-STと同様に二次元グラフに図示することができます。
- 付属の弱粘着シールを活用することで、何度でも測定することができます。

※画像は子ども用

A4判 4頁・自己採点方式 1セット40部 シール付き 定価10,000円(税別)

